令和4年度 第8回学校運営協議会 議事録

令和4年12月10日
八王子市立別所中学校
応接室
10:00～11:00

出席者：校長、米倉、圓城寺、杉山、博田、三浦、岡田、安樂、生川、大木、市原

(開会)

1 会長挨拶

今日も1時間要領よく行いたいと思います。よろしくお願いします。

2 校長挨拶

今日は落語教室、パラリアン講演会、スポーツデーと企画が続きます。2学期は学級閉鎖が1クラスありましたが、予定通りに教育活動を実施しています。

3 次年度の教育計画についての意見について

(校長) 9年間を通して育てたい生徒像についてご意見をいただきたいです。別所の特徴を出したいと考えております。

(生川) 別所地区の生徒はある程度学力はついていると思います。

(岡田) 公立中学校は社会の縮図だった。いろいろなことを学べました。高校では経験できないことでした。

(大木) 組織の規模は?ターゲットは?計画を立てても先生方が忙しく、動けないのではないのでしょうか。我々で生徒たちの学習支援で支えていければと思います。

(生川) もっと関わりたいと思っている講師の方が多いです。

(博田) 学力が定着は当たり前で、生徒には質問力(発信力)が必要だと思います。教師は発問力が必要です。キーワードを決めてターゲットを示せばいいのではないのでしょうか。

(岡田) 知識があっても意見を言わない人よりも学力的に劣っても積極的に行動できる人の方が成果を出せると思います。

4 別所地区地域学校協働の方向性と2023年度～注力ポイント

(米倉) 学運協会長の研修会では「学校自慢をしてください。」と言われました。地域の自慢としては、学習教室の講師が3名から25名になったことです。学力では自分で勉強ができるようになることが目標です。思いやりがある生徒、義侠心・正義感のある生徒も育てて欲しいです。

別所地区地域学校協働の方向性としては学校経営計画に対して、支援の拡充と勤務環境改善を行っていきたいです。

5 学運協学校コーディネーター研修会報告

(大木) 学運協の主な役割についての項目の中で、学校運営に関する活動を支援すること、学運協の準備ために学校が忙しくなる、学運協はPTA、学校と協働すること、が印象に残りました。詳細はプリントをご覧ください。

6 質疑応答及び情報交換

(杉山) この会で PTA の様子を伺いたいです。学校からのアドバイスも可能になります。

(岡田) 自分たちの動きが理解し始めてきました。英検・漢検の負担が大きいです。集金・申し込みが大変です。

(杉山) 保護者・学校・地域の方向性が一致しているのがこの地域の特徴です。この場で意見を言ってもらっても構いません。

(米倉) PTA の活動計画を知りたいです。

(岡田) 引き継ぎ資料はありますが、活動計画はありません。

(園城寺) PTA の外注もやっているようですが、9割は賛成のようです。

(安樂) 一部の保護者の方は不公平という意見をもとに話してくるので、その場合は役員の規定の見直しが必要です。

(杉山) 議題に「PTA より」を入れましょう。

(生川) 英検・漢検は松木中では学運協・PTA が共同で行っています。

(園城寺) 高校ではどうですか。

(博田) PTA はありますが、必置機関ではありません。運営委員会は月 1 回実施しています。広報は好評です。

(市原) 来年度の新入生は 4 クラスの予定です。

(博田) 松ヶ谷高校は普通科が 1 クラス増えます。

7 次回の日程確認

次回は令和 5 年 1 月 14 日 (土) 9:00~10:00 です。

道徳授業地区公開講座が開催されます。よろしければご参加をお願いします。

(閉会)